

働く障害のある方を応援します。

YUME-TAMAGO

『ゆめたまご通信』

発行 すみだ障害者就労支援総合センター

〒130-0021

墨田区緑四丁目25番4号

TEL 03-5600-2004 FAX 03-5600-3280

http://www.sumida-ganba-work.com

ひと、つながる。
墨田区

墨田区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。当センターは特に左記の目標に取り組んでいます。



ご挨拶

令和4年4月に、石原課長の後任として障害者福祉課長に着任いたしました、瀧澤と申します。令和2年4月から4年3月までは、向島・本所保健センターの所長を務めており、乳幼児の健康診査や精神疾患のある方の支援を行っていました。それ以前は、高齢者福祉課で4年ほど介護予防と認知症のある方への支援を担当する係長をしていましたので、これからの時代になくてはならない福祉や保健の仕事に、引き続きかかわれることを嬉しく思っています。

すみだ障害者就労支援総合センターには、一般企業への就労を目指す方の訓練や就労支援をはじめ、就労後の職場定着を支援する「ゆめたまご」と、就労生活支援等を行う「あったまろん」があります。いずれも、長い間かかわることになりますので、お互いの信頼関係が大事だと思います。私がセンターのスタッフに会った時に感じるのは、元氣なあいさつと、質問に丁寧に答えてくれる知識の豊富さです。就労についてお悩みの時は、センターにご相談いただければ、経験豊富なスタッフが全力で支援いたしますので、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

墨田区福祉保健部障害者福祉課長 瀧澤俊享 (タキザワ トシユキ)



「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加！

昨年6月に種を蒔き、かわいい芽が出てきて葉が日に日に大きくなり、台風や大雨に負けず8月には立派な花を咲かせてくれました。訓練の一環として「ふくひまプロジェクト」に参加したことが、新聞に取り上げられ利用者の大きな励みとなりました。

東 京 新 聞 2022年(令和4年)8月11日(木曜日) したまち 地域の情報

墨田 交流の種 花開く 福島

ヒマワリを植えた花壇に水やりをする
センターの利用者。すみだ障害者就労
支援総合センターで(墨田区提供)



プロジェクトはNPO法人「チームふくしま(福島市)」が障害者の雇用創出や観光促進につなげようと、二〇二一年五月から運営している。参加者は、福島県の福祉作業所で障害者が袋詰めしたヒマワリの種を購入して栽培。咲いた花から採れた種を福島に送り返す。種は県内各所に配られるほか、バスの

被災地支援の一環

燃料にも使われる。プロジェクトに参加して今年で十年目という区内の行政相談委員角田妙子さん(69)＝写真、右＝を通じて、センターの秋元さんの所長が取り組みを知り、センターで就労に向けてパソコン操作などの訓練をしている利用者とともに育てることにした。

六月中旬、ヒマワリの種三千粒を利用者十五人がセンターの花壇に植えた。うち三人が水やりを担当。育ったヒマワリは花を開き始めている。

角田さんは地域に種を配るなどして協力の輪を広げてきた。三日にセンターを訪れた時には「もうすぐ明るい立派な花が咲きそう。皆さんが丁寧に世話をしたからこんなに大きく育った」と喜んでいた。

秋元所長は「自分たちで種をまいて育てるという体験が利用者の就労訓練にもなる。ヒマワリ栽培を、地域の人や福島県の福祉作業所との交流につなげていきたい」と話す。種も利用者たちで収穫するとのこと。

障害者施設でヒマワリ栽培

福島県から届いたヒマワリを「すみだ障害者就労支援総合センター(墨田区緑四)」の利用者たちが育てている。東日本大震災で被災した福島を支援する「福島ひまわり里親プロジェクト」の一環、ヒマワリはすくすくと成長し、間もなくきれいな花が咲きそういそうだ。(三宅千智)



令和4年度すみだ就労支援フェア開催

事業主 向け

中小企業の障害者雇用のいま・これから

令和4年9月13日(火) 開催

事業主向けとして初めてとなるセミナー『中小企業の障害者雇用のいま・これから』を開催しました。就労生活支援あったまろんすみだ登録者の就労先企業である、障害者雇用担当者の方々にご参加いただき、講師をお招きして下記の内容をお話いただきました。

【企業を取り巻く障害者雇用の現状・雇用が進まない理由・中小企業の利点を活かした障害者雇用の事例・障害者雇用のメリット・障害のある方と共に働く場の創出例・定着に向けた雇用管理について】

講演終了後は、グループディスカッションや就労移行支援事業所ゆめたまごすみだへの見学も行われました。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
中央障害者雇用情報センター
内田(博)様、内田(正)様に講演いただきました

グループディスカッション



企業、当センター職員、
講師がグループに分かれ
て積極的なディスカッショ
ンが行われました



ゆめたまご見学



ゆめたまごでは事務訓練、
清掃訓練、軽作業訓練
など色々な訓練を行って
います



個別相談会



講演終了後に、個別相談会
を行いました

参加者の声



説明内容が具体的に
参考になった

同じ立場の企業や
専門の方との意見
交換など良い企画
だと思った



グループディスカッションの
時間がもう少しあると
良いと感じた



第7回「すみだ ゆめたまカップ」

＼令和4年9月17日(土) すみだ障害者就労支援総合センターにて開催／



昨年に引き続き今年も感染対策を徹底し、開催することができました。リモートで今年も「ウェルビー錦糸町センター」「LITALICOワークス錦糸町」に参加していただき、会場ではすみだ障害者就労支援総合センター「あったまろんすみだ」「ゆめたまごすみだ」の利用者が参加。日頃の訓練の成果を発揮することができました。

～競技種目～

参加者
29名



第一種目データ入力

エクセルを使いデータを入力
誤字・脱字のないようにミスなく入力します



第二種目アンケート仕分け

アンケートの住所を地方別に仕分ける作業
スピードと正確性を競いました



第三種目封筒封入

丁合した色紙を封筒へ入れる作業
手順に沿ってできるかどうかポイントです



第四種目ビンゴ大会！

盛り上がりは最高潮！
緊張もほぐれて楽しくビンゴができました



日頃の成果を発揮することができました。
入賞おめでとうございます♪

～結果発表～



手話通訳等派遣事務所

○事業案内

手話通訳者・要約筆記者の派遣に関する業務を行い、聴覚障害のある方が、社会生活において必要なコミュニケーション手段を確保し、自立と社会参加の促進を図ることを目的としています。また、聴覚障害者支援員として墨田区登録手話通訳者を配置し、生活全般に関する相談を受けています。

○主な対象者

墨田区在住の、身体障害者手帳をお持ちの聴覚障害者・言語機能障害者

○事業時間

月曜日から土曜日まで（祝日・年末年始は除く）午前9時から午後8時まで

○事業内容

- ・ 手話通訳者・要約筆記者の派遣調整など
- ・ 生活全般に関する相談や支援業務

例) 書類の記入支援、介護や子育て、就労等の相談や問い合わせ、病院予約等の電話通訳、情報提供、グループ支援（以下参照）等



～聴覚障害者向けのグループ支援の様子～



第105回「目の病気」

聴覚障害者にとって、情報を得るためにとても大事な「目」のしくみや病気について基礎的な勉強をしました。字幕付き動画を手話で解説し、手術等の体験談を共有したり、簡単にできる目の体操を皆で行いました。（参加者6名）

第107回「冬を元気に！」

ヒートショックや血栓症、カイロの正しい使い方等、寒い冬を元気に過ごすための情報提供をしました。また、高齢者向けの脳トレとして、指先を使う「押し花ハガキ」作成をし、プレゼントしたい相手への思いを発表しました。

（参加者5名）

